

拠出金名： 国連地雷対策支援信託基金

国際機関等名	国際連合(国連地雷対策支援信託基金) (略称)					
種 別	○国連本体		国連専門機関		その他	
所轄官庁担当局課名	外務省総合外交政策局国際社会協力部人道支援室					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	96,549	791		1\$ = 122円	年毎の報告なし	100
平成13年度	117,486	1,098		1\$ = 107円	年毎の報告なし	100
平成12年度	297,500	2,833		1\$ = 105円	年毎の報告なし	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 1994年10月～2001年9月まで の累計による	
1位	日本		20.1			
2位	EU		17.5			
3位	デンマーク		7.5			
4位	カナダ		7.3			
5位	英国		6.3			
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
国連PKO局地雷対策サービス部(UNMAS)は、国連の下で実施される対人地雷対策事業に関し、国連地雷対策支援信託基金を使用して支援する際、包括的にドナー国と事業主体を結び付けるための連絡・調整を包括的に行っている。更に、最近では、連絡・調整のみに留まらず、自ら主体的に事業管理・実施を行ってきている。ドナーは本信託基金への支出全額に対し、イヤーマークすることが可能であるため、我が国の意向も高く反映することが出来る。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
昨今は、事業主体とドナー間の連絡・調整のみならず、アフリカ・中東等に現地事務所を設置して、自ら地雷対策支援事業を管理・実施してきている。						
邦人職員数 うち幹部以上	111 人 (注) うち 5人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	2,492 人 (注) 4.5 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
人道問題担当事務次長(USG)		大島 賢三				
管理局事務次長補(ASG)		丹羽 敏之				
JIU監査官(D2)		久山 純弘				
政務局アフリカ部(D1)		持田 繁				
アジア太平洋経済社会委員会 事務局次長(D2)		大海渡桂子				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
(1)国連代表部内に「国連邦人職員増強・支援委員会」を設置し、邦人職員の採用、昇進の働きかけ、フォローアップを強化。 (2)2000年以降、国連事務局より邦人職員採用を目的として、面接等のほか邦人職員増強に関する広報活動を行う採用ミッションの訪日を受け入れており、今年度も採用ミッションの訪日を受け入れる予定。 (3)国連職員採用競争試験(若手職員を対象)合格者増に向け応募促進と実施支援を今後も引き続き実施。 (4)UNMASに対する働きかけとしては、我が国代表・UNMASバーバー部長が地雷対策支援関連の会議に同席する際、同部長訪日の際、及び、我が方より同部長訪問の際等機会ある毎に、邦人職員を積極的に採用してくれるようUNMASに申し入れをしている。						

(注)2002年6月30日現在(国連事務局作成資料)、衡平な地理的配分の原則が適用されるポストに勤務する職員数であり、国連事務局本部、ESCAP等地域経済委員会、UNCTAD、OHCHRの職員を示す。